

6月議会 一般質問 (菅井 巖議員)

保育料の第3子無料化の拡充を 市長「年齢制限拡大では5千万円負担増」

5日に行われた鶴岡市議会の一般質問で、日本共産党の菅井巖議員は、①子育て支援、②公園整備、③公衆トイレの管理・整備について取り上げました。

保育料無料化、年齢制限引き上げを



問 平成25年度から保育料軽減措置を本市独自に拡大し、同一世帯に小学生以下の子供が3人以上いる場合、第3子以降の子供の保育料を無料にしている。現在の場合、第1子、

第2子の年齢条件によって受けられない場合が起こる。
第3子以降の保育料無料化の年齢制限を18歳以下にすべきでは。

健康福祉部長 平成26年度実績で第3子以降保育料無料化に該当する児童は560名で、保育料の減収分と幼稚園・認可外保育施設への補助金が合わせて約1億1千万円。年齢制

限を18歳以下に拡大した場合、新たに5千万円程度の市の財政負担となる。

保育料の軽減策のさ

医療費無料化、18歳まで実施を

問 昨年度からの中学校3年生まで医療費無料化に、「大変助かる」と声が寄せられ、「高校生まで拡大できないのか」と要望がある。

県内では遊佐町が今年度から18歳までの医療費無料化を始めた。本市でも検討し、取り組むべき。財源として、国の予算「地方創生先行型」

らなる拡充は市の人口減少対策として重要な認識を持つているが、制度として継続させるための恒久的財源を確保する必要があり、国の動向、市の財政状況も踏まえて慎重に検討すべきと考える。

での医療費無料化については、助成対象の拡大で国保の国庫負担金等の減額措置の拡大が懸念される。

全国的にも実施例は少なく、参考例も少ないことから現時点での実施は考えていない。県の制度が市町村レベルより低い状況にあることから、県への制度拡大要望を引き続き行っていきたい。

地方創生交付金の活用については国会で質疑があったことを承知しているが、国保の減額措置がまだはっきりとしていないことから、国や県の動向を注視したい。

公園遊具の改修は

問 使用禁止の中央児童館や鶴岡西部公園の木製遊具やワイヤーロープを滑車で滑る遊具、遊具や水飲み場付近の土やマットの陥没箇所、アスレチック施設の築山の斜面の崩れた場所などの改修、動かない時計など点検はどうなっているのか。

健康福祉部長 中央児童館の屋外遊具は整備されてから14年経過している。現在では使用禁止だが、安全面に配慮し可能な限り早めに撤去する考え。

建設部長 今年度の公園施設長寿命化計画に鶴岡西部公園、小真木原公園の計画策定を予定しており、年次的に整備してゆく。

「漁村振興」「子育ても平和でこそ」



▽2日(火)、山形県漁港漁場協会の総会に来賓として招かれました。水産業の発展と水産物供給の安定を図るために、漁港漁場整備と漁村振興を目的とする会です。米子漁港整備には小竹輝弥県議が尽力しました。この分野でも役割を果たさねば。

▽7日(日)は、旧市内の小学校で二斉に運動会。朝暘一小致道会大運動会に出席しました。その後、戦争立法反対の定例街頭宣伝。運動会を終えた親子連れに向けて、「子育ての大前提は平和、子どもの未来を閉ざす戦争立法を廃案に追い込もう」と訴えました。

市が管理する公衆トイレの清掃を

問 市民から「公衆トイレが汚れている」「掃除はされているが、ただ水をかけ流しただけ」などの声があった。

市が管理する公衆トイレの点検、清掃の状況について伺う。(2面につづく)



(具議 関 徹)

▽6日(土)、国民救援会鶴岡支部定期大会で来賓として挨拶。秘密保護法廃止、盗聴法改悪や共謀

「戦争法案」廃案求める請願不採択

鶴岡市議会
総務常任委

可否同数で委員長不採択

9日、鶴岡市議会総務常任委員会で「『安全保障法制』の制定をやめ、平和国家としての歩みを堅持することを目指す意見書提出に関する請願」の審査が行われました。

審査では「新3要件」をどう捉えているのか、近隣諸国との緊張

関係にどう対処するか、自衛隊をどう評価するのか、憲法13条との関係をどう捉えているのかなどが議論されました。

紹介議員として出席した加藤太一議員、渡辺洋井議員が質問に答えました。

齋藤久議員が反対討

論、加藤鉦一、小野由夫議員が賛成討論の後、採決の結果賛同数となり、佐藤博幸委員長が不採択としました。

国民の8割が説明不足、過半数が反対している同法案は今国会での強行採決は絶対にはやめるべきです。

(1面のつづき)

市民部長 市で管理する公衆トイレは179カ所。管理部署は庁内17課が所管。

清掃は、シルバー人材センター等への委託が98カ所。自治会・組合・団体等が81カ所。日々努力している

が、清掃後の使用により汚れてしまうケースがあり、わかり次第、できるだけ迅速に対応している。

問 下池湖畔対岸、高館山山頂にあるトイレは「コンクリート造」

の「汲取り式」であり、散策をする方から「薄暗く、気味が悪くて入りにくい」「汚れている」「いやだ」と敬遠されている。下池湖畔対岸のトイレと東屋周辺は、雑木が生い茂って立ち寄りにくいという人もいる。

自然環境に配慮しつつ、散策者が休息しやすい整備が必要では。

商工観光部長 下池湖畔対岸のトイレは平成25年3月に外観・内装の改装と手洗い場を設置したが、「汲取り式」で電気が不通のため、

最近の観光施設のトイレに求められる設備水準には至っていない。利用状況や社会のニーズ等を勘案しながら、維持管理の在り方を検討したい。

問 大山保育園脇にあるトイレは平成25年に廃止されたが、いまだに解体されていない。

事故防止や防犯上でも、すみやかに解体すべきと考えるが、その時期はいつか。

建設部長 老朽化、汲取り式のため隣接する保育園、小学校の園児、児童に落下の危険があり、町内と協議し使用禁止にしている。

解体の必要性を十分に認識しており、今年度に解体することで準備を進めている。

「他町村の面倒見切れないうち」三川町に合併申し入れる

新ごみ焼却炉整備に関連し榎本市長が議会で発言

鶴岡市議会6月定例会で榎本市長は、家庭から出るごみ処理の新焼却炉整備に関し、これまで三川町から委託を受けてきたことについて、「他の町村の面倒を見切れるかとなるとそういう事態にはならないことが想定される」「合併について三川町に対し申し入れをしなければならぬ事態が必ず来る」「それがなければゴミの問題について市長としてゴ

5日の市議会一般質問で、今野良和議員の質問に答えたものです。

家庭から出る一般廃棄物の処理については、もともと7市町村で広域的に取り組んだ方が効率的だとして、「鶴岡市ほか6箇町村衛生処理組合」(1972(昭和42)年4月設立)で行ってきたものです。

鶴岡市が平成17年10月に合併し、19年度に組合を廃止して鶴岡市と三川町との間で契約を結び、三川町から委託を受けてきました。

時間当たり160ト程度の処理量のうち、三川町の分は10%を切るくらいで、三川町が支払う委託料は年間3800万円です。

鶴岡市は一般廃棄物の焼却炉と最終処分場の2施設について、合併特例債を活用して平

28年度まで施設整備基本計画を策定し、生活環境影響調査を実施します。

三川町を除いて、新しい焼却炉を160ト処理から150トになったからといってどれだけ安くなるか、機械電気設備やランニングコストも大差がなく、逆に委託料の分は減収となります。

自治体間の協力で広域的に処理した方が効率の良い事業を、「ごみ処理は自分でやれ」というのは地方財政の無駄遣いをしろということであり、「出来なければ合併しろ」というのでは、自分たちの



改築が計画されているごみ焼却施設

<p>藤島庁舎入札結果 () 内は予定価格</p> <p>6月4日入札分</p> <p>・市藤島地区地域活動センター事務所棟冷暖房設備改修工事 低入札価格調査のため落札決定保留中 — (30,970,000円) 工期~8/10</p>
<p>温海建設事務室入札結果 () 内は予定価格</p> <p>6月4日入札分</p> <p>・高野沢1号線道路改良工事(越沢地内) (株)アツケン 14,000,000円 (14,313,000円) 工期~10/30 (落札率97.8%)</p>
<p>政策企画課入札結果 () 内は予定価格</p> <p>6月4日入札分</p> <p>・出羽庄内国際村2階研修室等空調機改修工事 (有)トータル設備 3,150,000円 (4,020,000円) 工期~8/12 (落札率78.4%)</p>

まちづくりを自分たちで決めていく地方自治の本旨―団体自治と住

民自治―を否定する強権的発言です。(加藤鉦一議員)